

科目名	乳児保育Ⅰ		担当教員	中谷 房子・永島 玲子		
			担当形態	オムニバス		
テキスト	「やさしい乳児保育」青踏社	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の理念や社会的な役割と背景について学び、現状と課題について理解し意見が言える。 ・乳児の発達と生活や遊びを理解し、その特徴に配慮した保育の方法や内容を理解し説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>児童福祉施設における3歳未満児の保育は、子どもが大人の十分な世話を受けることにより、人として生きていくうえでの基本的な力を獲得していくことを目指している。それを実現していく保育者になるため、3歳未満児の心身の育ちを具体的に理解する。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション、「乳児保育」とは何かを考える 第2回 乳児保育の歴史を知る 第3回 乳児保育の基本となる考え方を理解する 第4回 0～3ヶ月未満児の発達の姿と具体的な援助方法を学ぶ 第5回 3ヶ月～6ヶ月未満児の発達の姿と具体的な援助の方法を学ぶ 第6回 6ヶ月～1歳3ヶ月未満児の発達の姿と具体的な援助方法を学ぶ 第7回 1歳3ヶ月～2歳未満児の発達の姿と具体的な援助方法を学ぶ 第8回 2歳児の発達の姿と具体的な援助方法を学ぶ 第9回 保育者の役割を理解する 第10回 乳児の生活について理解する（日課） 第11回 乳児の生活について理解する（食事） 第12回 演習：食事の援助について知識、技術を習得する 第13回 乳児の生活について理解する（排泄・着脱・睡眠） 第14回 演習：排泄、着脱、睡眠の援助について知識・技術を習得する 第15回 期末試験、まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り扱う予定のテキストの箇所を事前に読んで出席すること。 ・授業終了後は、資料等に基づきノートを整理すること。 <p>その他、必要に応じて課題を提示するので、取り組んだ上で出席すること。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内の取り組み（討議や演習への積極的な取り組み） — 20% ・期末試験 — 80% <p>※再試験あり（おおよそ試験結果発表後2週間以内）</p>						
参考文献	特になし。		特記事項	【課題等へのフィードバック方法】 試験後、模範解答を提示して解説を行います。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修		幼			
			保	保育内容・方法に関する科目		